



理念	現場運営	知識	合計
/16	/16	/68	/100

所属施設： 所属部署： 受験番号： 氏名：

ケアマイスター試験を受ける前に

ケアマイスター制度には、スタッフ 1 人 1 人に「自ら考える力を身につけてほしい」という思いが込められています。そのため、問題には自由記述で解答するものが含まれています。できる限り自分の考えを書き込めるように、問題文にしっかりと目を通し、時間配分を意識して試験に取り組んでください。

《法人理念に関する問題》

1. ケアマキスの法人理念について答えなさい。

- (1) 理念 顧客志向：その人らしさは、自分がこれまでの長い生活経験の中で積み重ねた個性です。物事に対する価値観を持ち、喜怒哀楽や好き嫌いといった感情を折り重ね生きてきた歴史であり唯一のものです

ケアマキスでは入居者様の個性を尊重し、その人らしく生きることができるよう支援しています。そのためには入居者様のことを「知る」ことが重要であり、様々な情報を聞き取ることが必要です。そこで入居者様や、入居を希望されている方に対してその方のことを知るためにはどのようなことを聞き取りますか。下記に 3 つ答えなさい。(配点 2×3)

解答例

その人の生活歴を知る（出生地、幼少期、仕事や家族について）
自宅での生活スタイルを知る
趣味や好きなことを知る
自宅や地域での役割を知る
現在の A D L、疾患、既往歴を把握する
出来ること、どこまでできるのかを知る

- (2) 理念 変化即動：私たちは、常に環境や状況の変化を見据え、躊躇せず、勇気を持って素早く行動します。

食事は毎日欠かすことのできないものであり、その方の状態を知るバロメーターでもあります。体調面や精神面の変化によって食事の摂取量に差が生じ、その変化を見逃すと生命に関わる危険があります。ケアマキスの理念 変化即動に基づいて考えた場合、食事摂取量が減少している入居者様に対して食事量を増やすにはどのような変化や工夫をしますか。下記に 3 つ答えなさい。(配点 2×3)

例 対象者の咀嚼・嚥下機能に合わせて食事形態を変更する。

解答例

・体調改善（便秘等）により、摂取量を増やす。



・食事動作の自立を支援する

失行により食事が摂れないと考えられる場合、食べ方を真似てもらう。

手に箸やスプーン、食器を把持させ、食事を誘導する。

食事を小鉢に移すなど摂取方法を工夫し、自己摂取を促す。

・安全・安楽に食事が摂れる環境を整える。

安全・安楽に食べるためのポジショニングを整える。

個人に合った自助具を選択する。

介助時一口を適切な量に調整する。

義歯の不適合による咀嚼機能への影響がないかを確認する。

集中力低下・疲労などその方に合わせた食事介助を行う。

・食事時間であることを認識させ、食事への関心を引く。

見当識障害・生活リズム障害に働きかけるために食事場所を選ぶ。

見当識障害・生活リズム障害に働きかけ、覚醒を促すために離床時間を検討する。

食事に意識が向くようにメニュー説明を行う。

食事に集中できる環境を整える。

食事時間であることを認識させるために視覚的刺激により環境への適応を促す。

食事前に口腔マッサージを行う事で食事時の開口を促す。

2. ケアマキスが必要とする職員像について答えなさい。

ケアマキスが必要とする職員像として「質の高いケアをめざし、自らの成長をめざす人」を掲げています。自らの成長の意思がある人となない人では成長の大きさも変わってきますし、スタッフ 1 人 1 人の成長が入居者様、あるいは法人に対して大きなメリットを生むことにも繋がります。

あなたはこの職員像に基づいた場合、自分自身が成長するために、どのような行動を起こしますか。①起こす行動 ②その行動を起こしたことで入居者様やその家族様、または法人に対してどのような効果を還元できるか答えなさい。（配点 2×2）

例

① あなたが起こす行動
ケアマイスター制度に合格し、上のクラスまで上がっていく。
② 還元できる効果
介護の質が高くなり、入居者様に安心して生活していただくことが出来る。

① あなたが起こす行動
② 還元できる効果

解答例

① 外部の研修に参加し専門的な知識を高める

② 専門知識を高めることでより高度な介護を提供できる

① 介護福祉士の資格を取得する。

② 資格を取得することで加算の算定率が上がり、法人の業績が上がる

① 入居者様の好きな〇〇の練習を行う（ピアノや習字など何でも OK）

② 入居者様と一緒に余暇活動を行うことで楽しみのある生活が提供できる

※解答は①自分自身が成長するための具体的な取り組み ②その取り組みに対して効果が反映できていれば OK

《現場運営に関する問題》

1. 我々介護職は入居者様の日常生活を支援する中で「快適な生活を守ること」、「安全を守ること」を考えながら業務を行っています。いかに事故のリスクを減らしながら入居者様の過ごしたいように過ごせる環境を提供できるか、様々な場面で検討が必要です。



- (1) ケアマキスでは「**その人らしく生きることにこだわりを持ちます**」という方針のもと、自動ドアに特別な施錠を設けていません。その方針に沿って下記の問いに答えなさい。

あなたは特別養護老人ホームで勤務しているスタッフです。特別養護老人ホームに入居されている牧須 花子様ですが、夕方になると家に帰りたいとおっしゃって玄関へ行き、外に出ようとします。しかし牧須様は 1 人で外出すると道がわからなくなったり、道路へ飛び出そうとしたりなど事故の危険が高い方です。

(歩行状態は安定していて、1 人で歩くことは可能です)

あなたは「帰りたい」と話す牧須様に対して、どのような対応をしますか。下記に 2 つ答えなさい。(配点 2×2)

① _____

② _____

解答例

- ・お話を伺って寄り添って一緒にフロアを歩き、「今日はもう遅いので泊まっていきましょう」と声をかける
- ・何か興味のあることを提供し気分転換を行う
- ・落ち着いてもらうように何か飲み物を提供して、お話を伺う
- ・スタッフが付き添いながら外へ出る

- (2) あなたが勤務している特別養護老人ホームに入居している巻栖 一郎様は下肢筋力の低下により歩行が難しく、移動は車椅子を使用しています。しかし、車椅子から立ち上がり動こうとすることが多く、転倒の危険があります。巻栖様は認知症から上手くコミュニケーションが取れず、何故立ち上がるのか不明です。巻栖様がなぜ立ち上がるのか、理由として考えられる要因を 2 つ答えなさい。(配点 2×2)

① _____

② _____

解答例

- ・椅子や車椅子の座り心地が悪い。
- ・尿意・便意がある。
- ・どこか行きたいところがある。
- ・体のどこかに痛みや違和感がある。

- (3) 下記は特別養護老人ホームに入居している巻栖 一郎様のある日の事故の記録になります。下記内容で記録として不足している内容を答えなさい。(配点 2×2)

12 月 2 日 (土)

10 : 30 左側臥位で転倒しているところを発見する。すぐ看護師とともに身体チェックを行うが特に外傷はなし。転倒状況により頭部をぶつけた様子であるが腫れなどはなく様子観察とする。いつも通り手すりを持って立っていただくも、普段と様子変わらない。ご本人様も痛みがある様子はない。

10 : 45 家族 (長男様) へ電話にて状況説明し謝罪する。長男様より「いつもご迷惑をかけて申し訳ありません。引き続きよろしくお願い致します」とお話頂く。何か変化があればまた連絡する旨お伝える。

12 : 00 昼食はご自身で召し上がる。頭部を打撲しているが、特に気分不良はなし。昼食後にお手洗いにいき、お通じあり。

15 : 00 おやつを提供するが、変わらず召し上がる。立ち上がりの状況も変わりなし。

18 : 00 夕食も同様に変わらず召し上がる。夕食後はしばらく TV を見て過ごされる。様子変化なし。

21 : 00 口腔ケア、パジャマ更衣。ベッドで休まれる。以降も体調変わりなく休まれる。

【不足している内容 ①】

【不足している内容 ②】

解答例

転倒した場所の記載がない／誰が対応したのかスタッフの名前がない／転倒後のバイタルなどの記載がない／食事の摂取量の記載がない／お通じの量の記載がない
※その他、ケアマキス様が必要と思われる記録内容の記載がなければ〇で OK です。



2. 現在もコロナの感染が続く中、感染に留意しながらケアマキスでも様々な取り組みを行っています。その中で入居様が楽しみにしている面会についても LINE 面会やパネル面会を実施するなど工夫を重ね安全かつ、ご利用者様の楽しみを提供できるよう取り組んでいます。パネル面会を実施するにあたり、感染症対策に留意していることを下記に 3 つ答えなさい。(配点 2×2)

(解答例) フィルムで飛沫を防いでいる

解答例

- ・10 分という制限時間を設けている
- ・マスクをしたままでも会話がしやすくなるように①職員を近くに配備 ②マイクを用意 ③筆談用のメモ用紙を用意している (各それぞれ個別採点でも可)
- ・一度に話せる人数制限を 2 人までとしている
- ・面会者が被らないよう、事務所でスケジュールを管理している
- ・面会は毎月 1 度までという回数制限をつけている
- ・面会終了後は机や椅子などをアルコール消毒している

「知識問題」

1. 介護福祉士に求められる義務について、不適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2) 【人間の尊厳と自立】

- ①利用者が、自立した日常生活を営むことができるよう、常にその者の立場に立って、誠実に業務を行わなければならない。
- ②介護福祉士は傷病者の看護および療養上の世話、医師の診療補助も業務に含まれる。 ×看護師の業務
- ③正当な理由がなく、業務で知り得た人の秘密を漏らしてはならない。退職後、5 年を過ぎた場合はその限りではない。 ×退職後～ ○介護福祉士でなくなった後についても同様
- ④利用者の心身の状況等に応じて、福祉サービスが適切に提供されるよう、福祉サービス関係者との連携を保たなければならない。
- ⑤介護等に関する知識及び技能の向上に努めなければならない。

②	③
---	---

2. 私たちが介護を行うご利用者は、耳が聞こえにくかったり、言葉が出にくかったりと、意思疎通に配慮が必要です。コミュニケーションを円滑に進めるために、配慮しなければならないことは何か答えなさい。(配点 2) 【人間関係とコミュニケーション】

聞き上手になる、相手の話の腰を折らない、表情豊かに聞く、適度な相槌を打つ、相手を否定しない、目線を同じ高さにする、相手を受け入れる・尊重する 等
ジャスチャー・筆談・非言語コミュニケーションの活用○、質問のやり方 (はいかいいえで答えられるようにする、クローズクエスチョン)

3. 介護保険制度について、正しい文章になるように () の語句に○をつけなさい。(配点 1×5) 【社会の理解】

- ①要介護認定は、市町村の区域内に住所を有する (40 歳以上 65 歳未満 ・ 60 歳以上 ・ 65 歳以上) の被保険者であれば、無条件に申請できる。
- ②介護保険料の徴収は、原則、年金から天引きされる (普通徴収 ・ 特別徴収 ・ 振替徴収) となる。
- ③地域包括支援センターには、社会福祉士、保健師の他、(介護福祉士 ・ 医師 ・ 主任介護支援専門員) を配置しなければならない。
- ④介護保険サービスの利用者負担は原則として、(1 割 ・ 2 割 ・ 3 割) である。
- ⑤介護サービスを利用する場合、保険制度は (介護保険 ・ 医療保険 ・ 労災保険) が最も優先される。

4. 下記の説明文に当てはまる語句をアルファベットで答えなさい。(配点 1×4) 【介護の基本】

- ①生活の質。生活の満足感、安定感、幸福感を規定している要因の質のこと。 (Q O L)
- ②食事、排泄、整容、移動、食事等の日常生活動作のこと。 (A D L)
- ③国際生活機能分類のこと。 (I C F)
- ④認知症に発展する可能性が高いとされる、軽度認知障害のこと。 (M C I)

5. 介護保険施設には、従来型とユニットケアに分類されますが、現在はユニットケアを採用する施設が増えています。(4) 【介護の基本】

- ①ユニットケアの特徴を答えなさい。(配点 2)

・高齢者を 10 人程度のグループに分けている。・グループの人数分の居室と共用空間を 1 単位とする。・居宅に近い環境の中でケアを行う。
・居室は個室とし、リビングのような小さな共用スペースで食事をしたり、談話などを楽しむ。・職員は少人数単位でケアにあたる。等

少人数対象△、個室対応△、グループで過ごせる△ 等言葉足らずな解答

- ②ユニットケアのメリットまたはデメリットを答えなさい。(配点 2)

メリット	・	デメリット	* どちらかを選択して答えなさい



メリット	・個室のためプライバシーの確保ができる。 ・少人数で交流できる共用スペースがあり、不特定多数が利用する空間よりもストレスが少ない ・専任スタッフで顔なじみになることができる。 ・個室のため利用者家族が訪問しやすい。 等
デメリット	・個室を確保することにより、利用者の負担額が大きくなる。 ・生活保護受給者が入所にくい。 等

6.介護記録は、より適切な介護サービスの提供につながるだけでなく、チーム内の連携を円滑にします。介護記録について、以下の問いに答えなさい。(4)

【コミュニケーション技法】

①記録の目的を答えなさい。(配点 2)

- ・利用者の生活の質を向上させるため ・より適切な介護サービスを提供するため ・情報共有の促進を図るため ・リスクマネジメントの可視化のため
- ・介護福祉サービス提供機関や施設の運営管理のため ・介護福祉職の教育や現任訓練のため ・介護福祉職のスーパービジョンのため
- ・介護福祉に関する調査や研究のため

②介護記録の方式として SOAP が用いられているが、記録の留意点を答えなさい。例 正確に簡潔に記録する、介護を実施した日に記録する 等 (配点 2)

- ・出来事（事実）と解釈を区別して記録する ・文字は大きすぎず小さすぎず、適切な大きさで書く
- ・読みやすさに配慮し、改行や段落を設定する ・内容によっては、標題や小見出し、箇条書きや図表を用いる ・5W1H の要素を備える
- ・修正、消去が簡単にできない筆記具を用いる ・修正する場合は修正液を使用せず、二重線を引き訂正印を押す
- ・略語は決められら範囲のものを用いる ・記録は厳重に管理し、外に持ち出さない ・記録は鍵のかかる場所に保管し、外出時は必ず施錠する 等

記録者を明記する○、誰が見てもわかるようにする×

7.高齢者が入居できる住宅・施設について、適切なものを下記の語群から選び、記号で答えなさい。(配点 1×3)

①65 歳以上の要介護高齢者で、病状が安定している人に対し、医学的管理下での介護・看護・リハビリテーション等を行い、家庭での生活に戻れるよう支援を行う。	B
②自炊できない程度の機能低下が認められる人もしくは独立して生活するのが困難な人が定額の料金で利用できる。	E
③65 歳以上の要介護高齢者で、自宅で生活することが困難で、常時介護が必要な人に日常生活の介護やリハビリテーションを行う施設。	A

A：介護老人福祉施設 ・ B：介護老人保健施設 ・ C：介護医療院 ・ D：認知症対応型共同生活介護
E：軽費老人ホーム ・ F：特定施設入居者介護支援事業 ・ G：小規模多機能型居宅介護

8. 介護過程について、適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。(配点 1×2) 【介護過程】

①介護計画の修正を行うことになり、利用者に説明し同意が得られた後に、

介護福祉職間で共通認識をもつためにインテークを行った。 ×インテーク ○カンファレンス

②一人暮らしの 82 歳女性が、自宅での生活の不安から施設に移ることを考えている。この状況を踏まえて事業所内のカンファレンスで話すときに優先すべきことは、在宅生活の継続への不安である。

③介護計画の評価の責任者は、介護支援専門員（ケアマネジャー）である。 ×評価の責任者 ○立案者または評価担当者

④買い物の際に階段を上がれないと言う片麻痺のある利用者について開いたカンファレンスで、介護福祉職は、利用者の日頃の移動の様子について、具体的に説明した。

⑤ケアプランに位置付けた目標の達成に向けて評価することを、インクルージョンと言う。 ×インクルージョン ○モニタリング

②	④
---	---

9.糖尿病について、下記の問いに答えなさい。(4) 【発達と老化の理解】

①糖尿病の症状を 2 つ答えなさい。(配点 1×2)

--	--

口渇、多飲、多尿、夜間頻尿、倦怠感、体重減少 等

疲労感○、皮膚のかゆみ○、手足の感覚麻痺○、手足の痛み○、免疫低下○、空腹感○、傷が治りにくい○、むくみ○、発汗異常○

低血糖×、尿の色・匂い×

②糖尿病による三大合併症のうち、1 つ答えなさい。(配点 2)

--

i. (糖尿病性) 網膜症

ii. (糖尿病性) 腎症 腎不全○

iii. (糖尿病性) 神経障害

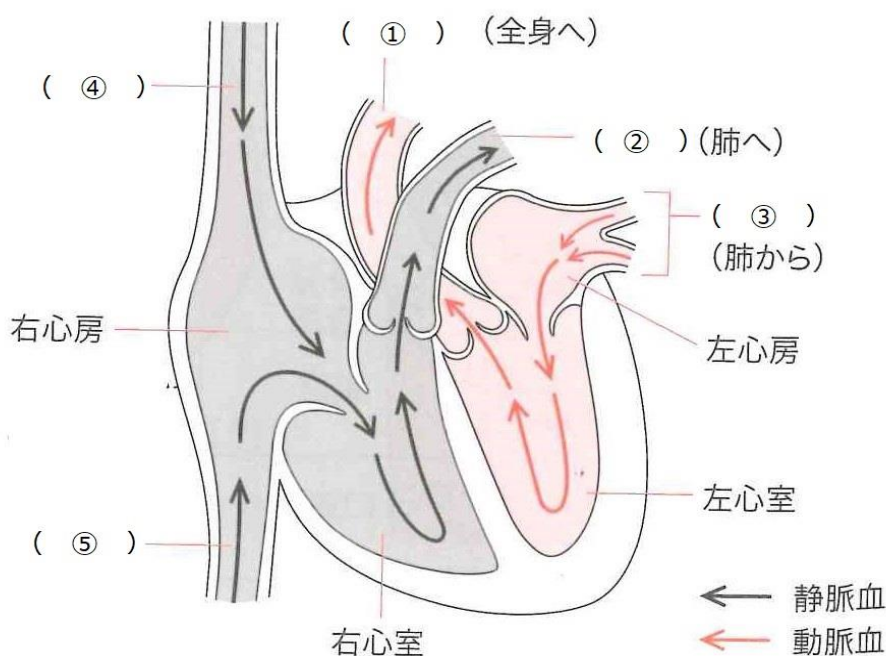
※腎臓の機能が低下する、透析が必要になる、失明する、認知症になる、細胞が壊死する 等、具体的な症状でも○

10. 次の記述が正しい文章になるように、適切な語句を下記の語群からアルファベットを選び、() に記入しなさい。(配点 1×8) 【認知症の理解】

A 様(82 歳 女性)は長年ひとりで生活していましたが、いつからか同じことを繰り返し話したり、出来事(エピソード)を忘れてしまう(① a)や、時と場所が分からなくなる(② d)が出現するようになりました。心配した家族が病院に付き添って検査をしたところ、(③ n)や大脳辺縁系に萎縮が見られ、(④ j)と診断されました。医師より、(④)は女性に多く見られ、平均(⑤ i)をかけて徐々に進行すると説明を受けました。アリセプトの服薬を勧められ、(⑥ p)、消化不良、下痢等の副作用があると説明を受けましたが、進行の抑制ができるならと、服薬加療を始めることになりました。また、病院スタッフより要介護認定の申請を勧められ、(⑦ s)へ相談に行きました。(⑦)では、申請後に認定調査を受け、(⑧ f)の審議を経て約 1-2 ヶ月で要介護度が決まると説明を受けました。約 2 ヶ月後、要介護 1 の認定を受けました。A 様の希望もあり、介護サービスの利用や家族の支援を受け、可能な限り自宅での一人暮らしを続けることになりました。

a.記憶障害 b.思考と判断力の障害 c.巣症状 d.見当識障害 e.完治 f.介護認定審査会 g.介護適正化委員会
h.2 年 i.8 年 j.アルツハイマー型認知症 k.レビー小体型認知症 l.前頭側頭型認知症 m.小脳 n.海馬 o.脳幹
p.食欲低下 q.過食 r.障がい者福祉センター s.地域包括支援センター t.在宅介護支援センター

11. 下記の図の()に入る語句を選んで答えなさい。(配点 1×5) 【こころとからだのしくみ】



- ① (大動脈)
② (肺動脈)
③ (肺静脈)
④ (上大静脈)
⑤ (下大静脈)

房室弁 ・ 僧帽弁 ・ 肺静脈 ・ 上大静脈 ・ 下大静脈
大動脈 ・ 肺動脈

12. 次の事例を読んで、問題に答えなさい。(7) 【職場の基礎知識】

【事例】

あなたは訪問介護事業所で働くホームヘルパーです。毎朝おむつ交換を支援している B 様(女性、78 歳、要介護 4)の自宅を訪問しました。B 様は半年前に脳梗塞を発症し、寝たきりになりました。認知症はありません。子どもはおられず、介護者は同居の夫のみです。病院から施設入所を勧められましたが、金銭的な問題があり、2 ヶ月前に退院して自宅へ戻ることになりました。利用サービスは毎朝 1 回の訪問介護と、特殊寝台、特殊寝台付属品のレンタルのみですが、夫婦とも国民年金のみで生活しているため、これ以上のサービスを利用することは難しいとのことでした。

B 様は 2 週間前から仙骨部に褥瘡ができており、毎日処置をしてもなかなか改善されません。あなたが同居の夫に B 様の最近のご様子を聞いたところ、食欲がなく、水分も十分に摂れていないといいます。見た目にも痩せてきています。ベッド横のテーブルには、朝食用のパンや飲み物が手つかずで置かれていました。B 様に召し上がるか伺ったところ、食べたいとおっしゃったため、食べやすいように工夫してセッティングすると、すぐに完食されました。また、おむつを交換する際、いつも尿量が非常に多く、毎回漏れてパジャマやシーツが汚れてしまっています。夫におむつ交換をしているか聞くと、「本人が嫌がるのでできていない」と答えました。しかし、あなたがおむつを交換するときは、B 様は嫌がることなく、いつも笑顔で「ありがとう」と言ってくれます。更衣とシーツ交換・おむつ交換をして退室しましたが、心配になったあなたは、事務所に戻って上司に相談しました。

① この事例の中で、あなたが問題だと感じることを答えなさい。(配点 2)

食欲はあるのに食事や水分が摂れていないこと、褥瘡が治らないこと、おむつの交換が十分にできていないこと、服やシーツが汚れたままになっていること 等
夫の対応が正しいか、夫が上手く介護できていない、夫が介護に前向きでない 等×



② 問題となっていることの原因を考察し、答えなさい。（配点 2）

夫の介護力不足、夫が食事を食べさせられない、栄養状態や衛生状態が悪い、夫がおむつを交換できない、夫からだけ介護されることを拒否している 等
夫が認知症かもしれない○、 夫に介護疲れがあるかもしれない○

③問題を解決するにはどうしたらいいと思うかと上司に質問されました。あなたの考えを答えなさい。（配点 2）

夫が介護ができるように介護技術の指導をする、尿パッドを蛇腹折で入れて夫はそれを抜けばいいだけにする、
夫の気持ちや実情を確認する、夫の気持ちやご意向を確認する、生活保護が受給できないかシミュレーションする 等
※施設入所やサービスを増やす等、金銭的な負担が増えるものは×
※ケアマネや役所に相談する 等、人任せなものは×

④もしご主人が介護することを拒否し、B 様を放置している場合は高齢者虐待に該当します。このケースにおける虐待の種類は何か答えなさい。（配点 1）

（ ）

介護放棄、ネグレクト

13.脳・神経系の病気について分類した表です。（ ）に適切な語句を記入し、表を完成させなさい。（配点 1×3）【発達と老化の理解】

疾患名	特徴
くも膜下出血	脳動脈瘤が破裂し、頭蓋骨内の軟膜とくも膜下の間に出血する。激しい（頭痛）、吐き気、嘔吐などが現れる。
（パーキンソン病） パーキンソン○	神経伝達物質であるドーパミンの不足により、からだに特徴的な症状が現れ、日常生活に困難をきたす進行性の神経変性疾患。50 歳以降の中年期に発症することが多く、筋肉のこばりや振戦等の症状がある。
脊髄損傷	脊柱（背骨）に強い外力がかかったことなどにより、脊髄が損傷を受ける。一度損傷した神経は元に戻らないため、障害された状態が一生続く。（リハビリテーション リハビリ○）で残存機能の維持・向上と合併症の予防を図る。

14.下の福祉用具について、保険貸与（レンタル）、保険対象購入、保険対象外購入の何れに該当するか番号で答えなさい。（配点 1×6）【生活支援技術】

①歩行杖 ②シルバーカー ③移動用リフト ④ウォシュレット付き補高便座 ⑤防水シート ⑥回転バスボード



保険貸与（③） 保険対象購入（④⑥） 保険対象外購入（①②⑤）

15.ボディメカニクスについて、適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。（配点 1×2）【生活支援技術】

- ①支持基底面積を狭く取り、重心を低くする。狭く→広く
②利用者と介護者双方の距離を近づける。距離→重心
③指先や腕力だけでなく、大きな筋群を使う
④利用者の体を小さくまとめる
⑤「引く」よりも前方に「押す」 「押す」よりも手間に「引く」

③	④
---	---

16. 食事介助について、①～③には適切な語句を（ ）に記入し、④⑤はあてはまる食材を答えなさい。（配点 1×5）【生活支援技術】

①食事介助の際は、介護者は座るかしゃがみ、利用者と同じ（目線）の高さにする。目○、目先×、顔×

②利用者の（残存）能力を活かし、できるだけ自分で食べてもらうことが大切。できる○

③構音障害の利用者は、（嚥下）障害もあることが多いので、食事中は集中してもらえよう、必要時以外は話しかけないようにする。

③ 食事には食べ合わせによっては体を冷やしたり、消化不良を起こしたり、栄養素を壊してしまったりするものがあります。食べ合わせの悪い食材を答えなさい。

--



天ぷらとスイカ…油と水分が多いものを同時に摂ると、胃液が薄まり消化不良を引き起こす

うなぎと梅干○

カニと柿…両方とも消化しにくく、体を冷やす食材

サンマと漬物…「ニトロソアミン」という発がん性物質ができてしまう

にんじんと大根…にんじんに含まれる「アスコルビナーゼ」が、大根のビタミンCを壊す。酢の物にすれば OK

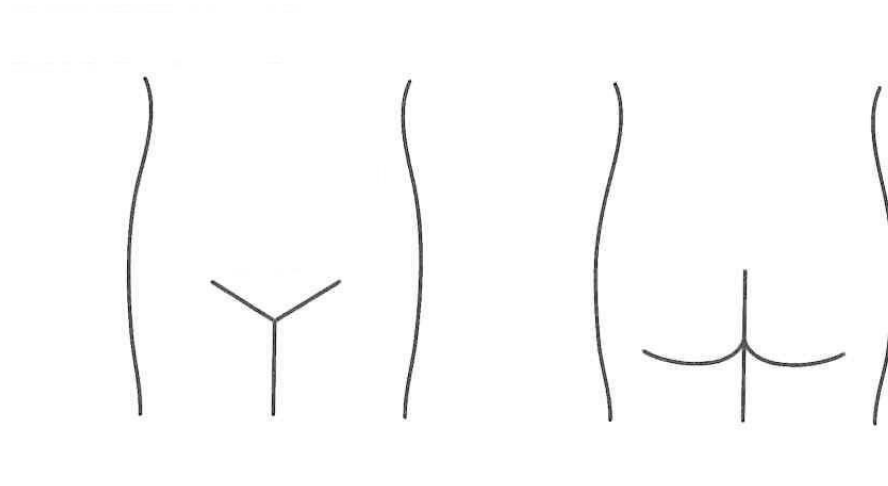
エビとレモン…エビに含まれる銅がレモンのビタミンCを酸化させ、毒素を発生させる

⑤誤嚥しやすい食品を答えなさい。

水、お茶、みそ汁（水分） パン（パサパサしたもの） こんにゃく（かみにくいもの） もち、のり（口腔内に付着するもの）

めん類○

17.便秘の利用者への対応として、便秘解消マッサージがあります。どのように行えばいいか、図に矢印を記入して答えなさい。（配点 1×2）



解答

前向き…右回りでなければ×、右回りであれば のの字、四角い形でも○

後向き…縦方向の動きでなければ×、縦方向であれば一方通行でも○、縦であればお尻でも○

